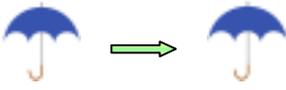
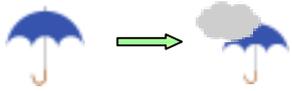
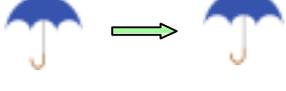
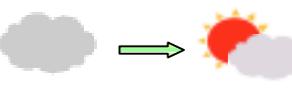
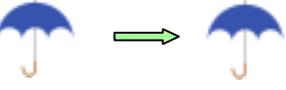
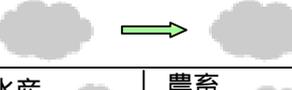
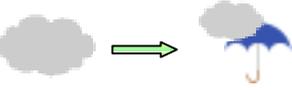
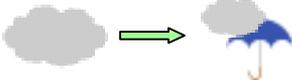


【産業動向概要】

産業全体 	<p>11年5月を中心とした県内経済は、サプライチェーン障害により部品調達に支障がみられることなどから生産が減少し、それに応じて輸出もマイナスとなっている。一方で、雇用・所得環境は冷え込んだ状態が続いており、その下で個人消費は回復に一服感がうかがえる。県内経済は、東日本大震災の影響により弱めの動きが続いている。</p>
--	--

観光・旅館業			<p>伊豆地区全体でみたGWの宿泊は概ね例年並みで推移した模様。全体に宿泊単価の低下傾向がみられる。夏休み期間の宿泊については、7月中旬現在予約出足の遅れ、消費単価の低下見込みなどから低調な状況。</p>
紙類			<p>再生紙物トイレトペーパーの価格は震災の影響で上昇、メーカーも一定の価格修正を実現した模様。段ボール原紙の需給は堅調だが、原料価格の上昇が懸念される。</p>
水産業			<p>静岡県主要漁港である焼津港の水揚量は、カツオ類の減少により前年比▲14.6%減、沼津港はサバ類の増加により同138.2%増となった。一方魚価は、震災の影響を受けたマグロ類やあじ類、サバ類は単価を下げたものの、カツオ類が上昇し、魚種全体の平均単価は前年同期比10.8%上昇した。</p>
一般機械（主要）			<p>金属工作機械はアジア向け、北米・欧州向け輸出が牽引し、前年比大幅なプラスが継続。しかし、円高の進行で採算的には厳しい局面が続く。金型も5ヵ月連続してプラスとなるが、節電、円高の進行、木・金休業の影響など先行き不透明さがうかがえる。</p>
木材			<p>県内新設住宅着工は減少、木造住宅着工もやや低下。製材品県内生産量も1年振りに前年比減少に転じた。震災による住宅着工の減少、木造住宅の需要低下が懸念され、住宅需要への依存度が高い木材市況にも影響が及んでいるものとみられる。</p>
缶詰			<p>水産缶は主力のツナ缶が増加に転じ堅調に推移。ただし、水産缶全体では震災の影響で今後原料の不足や価格上昇が懸念される。農畜産缶全体の生産量は三四半期ぶりに減少。飲料缶類は引き続き生産が前年比大幅増となっている。</p>
楽器			<p>ピアノ、電気・電子ピアノは東日本大震災の影響を受け、生産台数は前年同期を大幅に下回った。販売台数は電気・電子ピアノが同実績の1割減（ピアノは集計方法の変更により算出不能）。電子キーボードは拡大基調は弱まりつつあるが、輸出に支えられ生産台数、販売台数ともに前年同期を上回る。電子オルガンは生産台数大幅減。</p>

輸 送 用 機 器			遠州地域の二輪車生産台数は前年を下回った。また自動車部品生産金額（県内）は、大震災の影響で大幅なマイナスとなる。県内部品メーカーは自動車メーカー減産の影響で減収減益予想。さらに節電、木・金休業などへの厳しい対応が迫られている。
	二輪車 	自動車部品 	

				
明　　る　　い	やや明るい	停　　滞	やや不振	不　　振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	09/4 (09/6)	09/7 (09/9)	09/10 (09/12)	10/1 (10/3)	10/4 (10/6)	10/7 (10/9)	10/10 (10/12)	11/1 (11/3)	11/4 (11/7)
概況 		→				→			
観光・旅館業 			→		→		→		
紙類 		→		→				→	
水産 		→							
一般機械(主要) 		→				→			
木材 		→							
缶詰 		→						→	
楽器 			→		→		→		
輸送用機器 		→				→		→	